

群馬建協に感謝状

鳥インフル対応で県

群馬県は、高山村で発生した鳥インフルエンザの防疫作業で埋却処分を担った群馬県建設業協会（青柳剛会長）に感謝状を贈った。県農政部の



砂孟徹部長は18日、前橋市の群馬建設会館を訪れ、感謝状を手渡した。写真。このほか、同建協吾妻支部、群馬県農村整備建設協会、同吾妻分会にも感謝状を贈呈した。

砂孟部長は「年末年始にかけての作業となったが、埋却溝の掘削や、殺処分された鳥の積み込み、運搬、投入など昼夜を通して作業に当たっていただいた。おかげさまで30万羽を超える防疫措置を無事に完了できた」と謝辞を述べた。

青柳会長は「感謝状をいただき、2023年度の業界活動に幅広く指導賜り、厚く御礼申し上げます」と答えた。

群馬県から感謝状

建協ら、高山村の
鳥インフル防疫で

群馬県高山村で発生した鳥インフルエンザの緊急対応に際し、群馬県建設業協会（青柳剛会長）と群馬県農村整備建設協会（群馬農村整備協会、青柳剛会長）は県からの感謝状を受け取



砂盃部長(左)が青柳会長に
感謝状を手渡した

った。感謝状は2023年12月31日に起きた事案への防疫作業について、山本一太知事名で両協会に、砂盃徹農政部長名で群馬建協吾妻支部と群馬農村整備協会吾妻分会にそれぞれ贈られた。

18日に前橋市の群馬建設会館で開いた贈呈式で、砂盃部長は「昼夜を通じた作業で防疫措置を終えていただき感謝する」と述べた。青柳会長は「感謝状を頂戴しお礼申し上げます」とコメント。7日に群馬建協沼田支部役員と群馬農村整備協会の会員企業で鳥インフルエンザ対応の勉強会を行ったことを紹介し、「新年度も研修会などをできればと思っている」と話した。

群建協ら

県から感謝状贈呈

鳥インフルの防疫業務

群馬県建設業協会（青柳剛 会長）および群馬県農林業協会は、1月に高山村で発生した高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う

防疫業務に対して、山本一太県知事から感謝状が贈呈された。また、群建協吾妻支部（池原純支部長）および群馬県農林業協会建設業分会（吉澤孝分会長）へ砂盃徹農政部長から感謝状が贈

られた。18日に贈呈式が群馬建設会館で執り行われた。感謝状贈呈にあたり砂盃部長は、防疫業務に対して感謝の言葉を伝える

た。3月7日には沼田支部、農村整備建設協会、

農林事務所と鳥インフルエンザの対応について情報共有、勉強会を行い参考になった」と話し、新年度も会員向けに研修会ができればと伝えた。



青柳会長④へ感謝状が贈呈された



感謝状を受け取る池原吾妻支部長④



吉澤吾妻分会長④へ感謝状が手渡された